



2025年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年1月10日

上場会社名 **株式会社ポプラ** 上場取引所 東
 コード番号 7601 URL <http://www.poplar-cvs.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡田 礼信
 問合せ先責任者(役職名) 取締役執行役員社長室長 (氏名) 大竹 修 TEL (082) 837-3510
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年2月期第3四半期の連結業績(2024年3月1日～2024年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業総収入		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年2月期第3四半期	9,171	△ 2.8	362	13.4	365	29.6	335	△ 7.8
2024年2月期第3四半期	9,431	△ 5.8	319	—	281	747.9	364	—

(注) 包括利益 2025年2月期第3四半期 303百万円 (△ 18.3%) 2024年2月期第3四半期 371百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2025年2月期第3四半期	25	58	20	28
2024年2月期第3四半期	29	25	24	42

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年2月期第3四半期	4,427	751	17.0
2024年2月期	3,809	477	12.5

(参考) 自己資本 2025年2月期第3四半期 751百万円 2024年2月期 477百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2024年2月期	—	0	00	—	0	00
2025年2月期	—	0	00	—		
2025年2月期(予想)				0	0	00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年2月期の連結業績予想(2024年3月1日～2025年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業総収入		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	11,920	△ 3.6	409	1.2	404	12.2	348	△ 24.6	25	70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年2月期3Q	11,787,822 株	2024年2月期	11,787,822 株
② 期末自己株式数	2025年2月期3Q	924 株	2024年2月期	873 株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年2月期3Q	11,786,914 株	2024年2月期3Q	11,787,016 株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

A種種類株式	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年2月期	—	—	—	2,066 30	2,066 30
2025年2月期	—	—	—		
2025年2月期（予想）				3,250 00	3,250 00

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(収益認識関係)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円安に伴うインバウンド需要の増加や雇用環境・個人所得の改善が進むなど、緩やかな回復基調となりました。一方でエネルギーや原材料高騰の長期化、ロシア・ウクライナ問題や中東情勢などの地政学的リスク、世界的な金融引き締めに伴う景気減退懸念など、先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは、小型無人コンビニの展開や、弁当、惣菜等の自社工場製品の販路開拓、老健施設向けの完全調理済み冷凍惣菜、冷凍弁当の製造販売事業の拡大、ローソン・ポプラ事業の新規出店とフランチャイズ化の促進など、安定した収益体制と財務基盤の増強に取り組んでまいりました。

<売上と利益の状況>

店舗売上につきましては、社会活動の正常化やインバウンド需要の増加に加え2024年12月に創業50周年を迎えるにあたり、11月5日より実施の創業50周年記念企画の販促が好評を得たことから、客数、売上ともに大きく伸長、当第3四半期連結累計期間の既存店ベースの売上前年比は104.2%となりました。

自社工場売上につきましても、ドラッグストアなど外部小売事業者への常温・チルド弁当、惣菜の供給拡大ならびに老健施設への完全調理済み冷凍惣菜、冷凍弁当の製造販売が順調に進んだことから売上は今期計画を上回りました。

利益面においては、関東エリアの物流の大幅な見直しを行ったことによる先行費用の発生や、原材料費の高騰が収益を圧迫する状況ではあったものの、工場製品の拡販による収益の増加や、直営店舗のフランチャイズ化を推進したことにより費用の削減が進んだことから、営業利益は362百万円（前年同期比13.4%増）、経常利益は365百万円（同：29.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は335百万円（同：7.8%減、前年同期は土地売却に伴う特別利益134百万円を計上）となりました。

セグメントごとの活動状況は以下のとおりであります。

<スマートストア事業>

「ポプラ」「生活彩家」ブランドで施設内に展開するスマートストア事業につきましては、チェーン規模の維持拡大ならびに自社工場の稼働率向上に取り組ましました。

創業50周年記念企画として実施した50%増量商品においては、お店で炊いたご飯を盛り付ける当社の看板商品である「ポップ弁」とんかつ弁当は売上が増量前比較で161%、同じく焼き飯は190%、ミックスサンドが168%となるなど好評を得ました。

外部小売事業者への弁当、惣菜の供給については販路の拡大に加え、供給先の一つであるドラッグストア「ウォンツ」（株式会社ツルハグループドラッグ&ファーマシー西日本）の管理栄養士監修により製造した弁当、おにぎりの販売が話題となり売上が大きく伸びました。

販促面では、特定の商品を購入すれば、必ず話題の新商品がもらえる販売促進策「ONE BUY ONE」企画、QR決済クーポン・キャンペーン等を実施するとともに、創業50周年記念企画として、広島東洋カープの開幕戦チケットや掃除機、ゲーム機などが当たる大感謝キャンペーンを実施し、お客様の来店頻度の向上に取り組ましました。

これらの結果、既存店ベースの売上前年同期比は103.2%と好調に推移いたしました。

また、前年度に稼働した完全調理済み冷凍惣菜の製造販売事業につきましては、老健施設への販売が大きく伸長したほか、冷凍弁当、焼きおにぎり、唐揚げなどを受託製造したことなどもあり、順調に業績を拡大しております。

出店に関しては、従来の施設内店舗を5店舗出店、事業所内の一角に1坪から5坪程度の小型無人コンビニを設置する「スマートセルフ」店舗を9店舗出店した結果、期末店舗数は276店舗（前年同期末：274店舗）となりました。

また、様々なキャッシュレス決済が可能なスマートフォンサイズの決済端末を開発・投入することにより、従来以上に低コストでの運営が可能な小型無人コンビニのフランチャイズ展開を開始いたしました。

これら活動の結果、スマートストア事業の営業総収入は3,863百万円（前年同期比2.1%減）、営業損失は84百万円（前年同期実績：営業損失15百万円）となりました。

<ローソン・ポプラ事業>

ブランドチェンジから4年目に突入したローソン・ポプラ事業につきましては、お客様が「お買い物を楽しめる売場」を創り続けることを重点目標とし、商品の充実と販促への取り組み徹底、接客の向上と清掃の徹底に取り組んでまいりました。

販促面では、おにぎり350円以上お買い上げで飲料無料引き換えクーポンプレゼントセールや、からあげクン増量セールが売上を押し上げたことに加え、ローソン・ポプラ店舗の特徴である「ポップ弁」については、ポプラ創業50周年記念企画の50%増量とんかつ弁当の販売や特盛り無料セールの実施、「できたてポップ弁」唐揚げ1個

増量セールなど、ご好評をいただきました。

これらの結果、売上は引き続き好調を維持、既存店ベースの売上前年同期比は104.6%となりました。

出店に関しては3店舗を出店、直営店舗のフランチャイズ化に関しても9店舗を転換し、期末店舗数は117店舗（前年同期末：113店舗）となりました。

これらの結果、ローソン・ポプラ事業の営業総収入は4,692百万円（前年同期比3.1%減）、営業利益は691百万円（前年同期比26.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は前連結会計年度末に比較し681百万円増加し2,378百万円（前連結会計年度末比40.2%増）となりました。これは、主に当第3四半期連結会計期間末が金融機関の休業日であったことにより債務の支払いが翌営業日に繰り越されたこと等から現金及び預金が578百万円増加したことによるものであります。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末の固定資産は前連結会計年度末に比較し63百万円減少し2,049百万円（前連結会計年度末比3.0%減）となりました。これは、主に持合株式の解消を目的として売却した投資有価証券が85百万円減少したことによるものであります。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末の流動負債は前連結会計年度末に比較し621百万円増加し2,219百万円（前連結会計年度末比38.9%増）となりました。これは、主に当第3四半期連結会計期間末が金融機関の休業日であったことにより債務の支払いが翌営業日に繰り越されたこと等から買掛金が293百万円、加盟店買掛金が118百万円及び未払金が83百万円増加したことによるものであります。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末の固定負債は前連結会計年度末に比較し277百万円減少し1,456百万円（前連結会計年度末比16.0%減）となりました。これは、主に返済に伴い長期借入金が137百万円減少及びリース債務が122百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は前連結会計年度末に比較し274百万円増加し751百万円（前連結会計年度末は477百万円）となりました。これは、主に親会社株主に帰属する四半期純利益が335百万円であったこと、種類株式の配当支払いが28百万円あったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年2月期の業績予想につきましては、2024年10月3日に公表いたしました内容から変更ございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	752,371	1,330,903
売掛金	77,740	136,898
商品及び製品	243,927	257,184
原材料及び貯蔵品	15,810	23,099
その他	655,254	686,970
貸倒引当金	△48,264	△56,566
流動資産合計	1,696,838	2,378,491
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	103,884	108,571
土地	1,249,635	1,249,635
その他(純額)	180,671	215,425
有形固定資産合計	1,534,191	1,573,632
無形固定資産	8,886	4,841
投資その他の資産		
投資有価証券	145,295	60,100
敷金及び保証金	334,446	311,834
その他	104,549	110,375
貸倒引当金	△14,567	△11,445
投資その他の資産合計	569,724	470,864
固定資産合計	2,112,802	2,049,339
資産合計	3,809,640	4,427,830

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	271,337	565,181
加盟店買掛金	239,514	357,549
1年内返済予定の長期借入金	206,304	206,304
預り金	106,068	100,330
未払金	325,580	409,085
未払法人税等	85	75,532
賞与引当金	17,506	2,056
その他	432,242	503,746
流動負債合計	1,598,639	2,219,786
固定負債		
長期借入金	195,000	57,464
リース債務	339,297	216,635
退職給付に係る負債	405,472	411,078
資産除去債務	218,122	212,381
長期預り金	570,002	553,427
その他	6,032	5,447
固定負債合計	1,733,926	1,456,434
負債合計	3,332,565	3,676,220
純資産の部		
株主資本		
資本金	30,000	30,000
利益剰余金	414,040	720,850
自己株式	△397	△408
株主資本合計	443,643	750,442
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	29,239	5,287
退職給付に係る調整累計額	4,191	△4,119
その他の包括利益累計額合計	33,430	1,167
純資産合計	477,074	751,609
負債純資産合計	3,809,640	4,427,830

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)
営業総収入		
売上高	7,023,771	6,549,560
営業収入	2,407,349	2,621,860
営業総収入合計	9,431,120	9,171,420
売上原価	5,352,519	5,031,906
営業総利益	4,078,600	4,139,513
販売費及び一般管理費	3,759,043	3,777,201
営業利益	319,557	362,312
営業外収益		
受取利息	385	521
受取配当金	1,264	1,729
受取手数料	391	454
開発負担金収入	21,014	8,958
違約金収入	1,037	5,016
貸倒引当金戻入額	1,027	691
その他	6,933	4,723
営業外収益合計	32,055	22,095
営業外費用		
支払利息	21,522	15,251
株式交付費	41,489	—
コミットメントフィー	5,875	3,501
その他	866	438
営業外費用合計	69,753	19,192
経常利益	281,859	365,216
特別利益		
固定資産売却益	137,012	768
投資有価証券売却益	45,941	61,293
特別利益合計	182,953	62,062
特別損失		
固定資産除却損	6	0
減損損失	30,043	15,914
店舗閉鎖損失	6,319	700
その他	3,030	—
特別損失合計	39,399	16,615
税金等調整前四半期純利益	425,412	410,663
法人税、住民税及び事業税	58,821	75,807
法人税等調整額	2,447	△882
法人税等合計	61,268	74,925
四半期純利益	364,144	335,738
親会社株主に帰属する四半期純利益	364,144	335,738

（四半期連結包括利益計算書）
（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2023年3月1日 至 2023年11月30日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2024年3月1日 至 2024年11月30日）
四半期純利益	364,144	335,738
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	19,267	△23,952
退職給付に係る調整額	△11,881	△8,311
その他の包括利益合計	7,385	△32,263
四半期包括利益	371,529	303,475
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	371,529	303,475
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)
減価償却費	37,976千円	41,682千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自2023年3月1日 至2023年11月30日）

1. 報告セグメントごとの営業総収入及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	スマート ストア事業	ローソ ン・ポプ ラ事業	計				
営業総収入							
加盟店からの収入	2,113,273	1,355,143	3,468,417	—	3,468,417	—	3,468,417
直営店舗の売上	616,272	3,421,688	4,037,961	640,723	4,678,684	—	4,678,684
その他の収入	1,137,539	63,991	1,201,530	4,925	1,206,456	—	1,206,456
顧客との契約から 生じる収益	3,867,085	4,840,823	8,707,909	645,648	9,353,557	—	9,353,557
その他の収益 (注) 4	77,563	—	77,563	—	77,563	—	77,563
外部顧客への営業 総収入	3,944,649	4,840,823	8,785,472	645,648	9,431,120	—	9,431,120
セグメント間の内 部営業総収入又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	3,944,649	4,840,823	8,785,472	645,648	9,431,120	—	9,431,120
セグメント利益又は 損失 (△)	△15,058	548,609	533,550	20,020	553,571	△234,014	319,557

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理店事業、ドラッグストア及び外食事業であります。

2. セグメント利益又は損失 (△) の調整額は、配分されていない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準第13号 2007年3月30日 企業会計基準委員会）に基づく賃貸収入等であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第3四半期連結累計期間において、固定資産の減損損失を30,043千円計上しております。当該減損損失の計上額は、「スマートストア事業」セグメントにおいて30,043千円であります。

当第3四半期連結累計期間（自2024年3月1日 至2024年11月30日）

1. 報告セグメントごとの営業総収入及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	スマート ストア事業	ローソ ン・ポプ ラ事業	計				
営業総収入							
加盟店からの収入	2,079,541	1,580,261	3,659,802	—	3,659,802	—	3,659,802
直営店舗の売上	500,600	3,056,591	3,557,191	611,001	4,168,192	—	4,168,192
その他の収入	1,210,967	54,313	1,265,280	4,617	1,269,898	—	1,269,898
顧客との契約から 生じる収益	3,791,108	4,691,165	8,482,274	615,618	9,097,893	—	9,097,893
その他の収益 (注) 4	72,447	1,080	73,527	—	73,527	—	73,527
外部顧客への営業 総収入	3,863,555	4,692,245	8,555,801	615,618	9,171,420	—	9,171,420
セグメント間の内 部営業総収入又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	3,863,555	4,692,245	8,555,801	615,618	9,171,420	—	9,171,420
セグメント利益又は 損失 (△)	△84,262	691,596	607,334	△1,644	605,689	△243,376	362,312

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理店事業、ドラッグストア及び外食事業であります。
2. セグメント利益又は損失 (△) の調整額は、配分されていない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
4. その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号 2007年3月30日 企業会計基準委員会)に基づく賃貸収入等であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第3四半期連結累計期間において、固定資産の減損損失を15,914千円計上しております。当該減損損失の計上額は、「スマートストア事業」セグメントにおいて15,914千円であります。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等の注記)」に記載のとおりであります。